

第5回「防潮堤を勉強する会」要旨

日時：2012年8月24日（金）18時から20時 場所 ワンテン2F大ホール

1. テーマ「各地区からの現状報告と課題の共有」

唐桑大沢地区

- 防潮堤のイメージ共有のため以下の3点を実施した。
 - ①地区内周辺にある身近な物を使って高さのイメージを持ってもらう
 - ②ロープを使用して実際に防潮堤の高さを体感してもらう
 - ③CGを活用し防潮堤建設後のイメージを持ってもらう
- 地区としては防潮堤が必要であるという方向性で動いている。その他防災集団移転も含めて、様々なまちづくりの話し合いが多くの住民参加のもと熱心に開催されている。

唐桑鮪立地区

- 自治会委員と鮪立委員会との議論を元に市に対して昨年9月に要望書を提出した。
- 「鮪立港まちづくり100人会」の協力を得ながら、月1回程度の会合を持っている。
- 現在予定している場所に直立的防潮堤を建てるのは反対。

鹿折地区

- 防潮堤に関してよりも、まずは自分たちの住むところや生活基盤の話の方が先となっている。
- 波板に面した地区に関しては防潮堤の課題が挙げられている。

鹿折鹿浜地区

- 気仙沼市水産課の主導で、専門家2名を交えて勉強会を2回実施している。
- TP9.9mの提案であるが、防潮堤は原型復旧で良いと住民の意見が挙がっている。
- TP9.9mの防潮堤には、多くのメリットとデメリットを感じている。

松岩片浜母体田前浜地区

- 6月に市からの説明会及び意見交換会が実施され、防潮堤および防潮林についての説明を受ける。
- 片浜、母体田、前浜の3地区合同で協議会を立ち上げる準備を進めている。

内湾地区

- 各地区協働で内湾協議会が設置され、現在はそこを中心に27回もの話し合いが行われている。
- 内湾のまちづくりコンペで浮上式防潮堤が採択されるも県から否定される。
- 県からは6.2mの防潮堤建設が要請されているが、住民側は基本的に反対。

質疑からわかったこと

- 話し合いの場では意見を言いづらい人がいる中、その声を拾う工夫をしながら合意形成に向かっていく必要がある。
- 防潮堤に関してより具体的なイメージを持つことが必要。地区によっては専門家やCGによるイメージ共有を今後図っていくことが重要である。

<次回 第8回「防潮堤を勉強する会」> 9月11日（火）18時～ 気仙沼小学校体育館

●テーマ：ワークショップ 「守るべきものは何か？」体感する合意形成

講師：特定非営利 NPO研修センター 代表 世古一穂氏